

ワイルドデイキャンプ

～災害に備えて～

令和2年 7月11日(土)実施

今年、新型コロナ感染拡大防止のため、日帰りでの実施となりました。参加したのは県南の小学4年生から6年生の15名で、3密を極力回避しながらの活動となりました。サブテーマにあるように、“災害に備える”ためのキーワードとして、衣食住をどうするかに視点を置き、「衣」については“体力アップ”、「食」については“箸づくり”、「住」については“ツェルト設営”という3つの体験活動に力を入れました。体力アップとして取り組んだ剣ヶ峰までの登山では、全員が山頂にたどり着きました。また、身近なブルーシートが緊急の住まいとして活用できることを学び、家庭でもやってみたいという意欲化につながりました。また、独力で檜をカンナで削り、手作りの箸を作ったことで、森林の大切さについても学習しました。参加者たちは便利な生活から離れて、様々な体験を通して、災害時に役立つノウハウを学ぶことができました。

